

みなさま！

妊娠中、妊娠を希望・予定されている女性の方のためにも…



風しんの予防接種を御検討ください！

現在、関東地方を中心に風しんが大流行しています。今後、本県でも流行する可能性がありますので、予防接種を2回接種されていない方、医療機関の検査で風しんの十分な免疫が確認されていない方は、麻しん風しん（MR）混合ワクチンの予防接種を御検討ください。



（注！妊娠中の方は予防接種を受けることは出来ません。）

20代～50代前半の**男性**の5～10人に1人は風しんの免疫がないといわれており、今年の全国の患者の約70%が20代～40代男性、約15%が20代～40代女性となっていますので、20代～40代の方は予防接種を是非御検討ください。

また、関東地方、大阪府、兵庫県、愛知県、静岡県などの流行地域へ出張、旅行等を予定している場合には、早めに予防接種を御検討ください。

風しん(三日はしか)ってどんな病気？



3日前後の発熱と発しん（小さく淡いピンク色）が見られ、発しんは顔からはじまって首や体、手足に広がります。また、頭や耳の後ろ、首などのリンパ節が腫れてきます。まれに脳炎、血小板減少性紫斑病など重篤な合併症が発生することがあります。

風しんは感染力がとても強く、「せき」や「くしゃみ」により周りの人に感染させることがあります。1人の感染者は、周りの5人～7人に感染させると言われていています（インフルエンザの場合、平均で1人～2人）。

なぜ予防接種が必要なの？

風しんは大人がかかると重症になることが多く、妊婦、とくに妊娠初期のお母さんが風しんにかかると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、精神や身体の発達の遅れ等の障がいをもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。

妊婦は風しんの予防接種を受けることが出来ないため、妊婦とその胎児を風しんから守るには周囲の方々が予防接種をすることが大切です。



予防接種を受ける場合は、お近くの医療機関（内科、小児科など）にご相談ください。（接種は要事前予約）

風しんに関するご相談

福井健康福祉センター 地域保健課

0776-36-6810

過去に予防接種を受けたかどうか分からないんですが…



確実に風しんの免疫を付けるには、予防接種を2回受ける必要があります。
(誕生日が平成2年4月1日より前の方の多くは2回受けていません。)

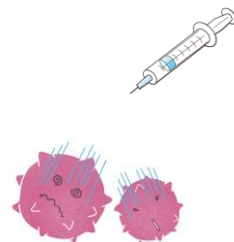
医療機関の検査で風しんに対する十分な免疫があることを確認したことがなければ、予防接種を御検討ください。なお、過去に妊娠されている方は、妊娠時に風しんの抗体検査を行っていることがありますので、母子健康手帳でご確認ください。

また、過去に風しんに感染したことがある場合や予防接種を受けたことがある場合であっても、予防接種を受けることができます。

昔、風しんにかかったと思います。それでも予防接種は必要？

すでに風しんにかかったとの記憶のある人たちの約半分は記憶違い、または他の病気だったという調査結果があります。福井県でも、麻疹や風しんの届出の後、詳しい検査で実は他の病気であったということが珍しくありません。

医療機関の血液検査で風しんであることが確認された、または検査で風しんに対する十分な免疫があると確認されたのであれば、予防接種を御検討ください。



予防接種はいくらくらいかかりますか？

医療機関にもよりますが、麻疹風しん（MR）混合ワクチンの場合、1回の接種で8千円～1万円程度です。



大人の方への助成制度はありませんが※、ご自身の健康のためにも、また、周りの妊婦さんと生まれてくる赤ちゃんのためにも、是非予防接種を御検討ください。



※平成25年度の定期予防接種の対象(全額公費)
1歳、小学校入学前の1年間

風しんに関してもっと知りたい場合は、

福井県 風しん

検索

